

うなぎとり (1957)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1957/10/01

公開情報 松竹

【解説】

新藤兼人と勝目貴久が共同で執筆したオリジナル脚本を、木村荘十二が監督した児童劇映画。上映時間49分という小品ながら、アジア映画祭で高い評価を得た。

戦争未亡人のタカは一人息子の太郎を連れ、野良仕事を手伝うため農村を訪れる。川では地元の子供たちが細い筒の仕掛けを作り、うなぎとりに励んでいた。みんなの仲間に入りたい太郎だったが、母親からはここには遊びに来たわけではないと諭され、また自分からはなかなか声をかけられずにいた。しかし激しい雨の夜、流されかけた仕掛けを母子二人で上げたことから、太郎は子供たちの仲間に入れてもらえるようになり、徐々に友情を深めていくのだった。

【クレジット】

監督 木村荘十二

製作 加賀二郎

絲屋寿雄

能登節雄

脚本 新藤兼人

勝目貴久

撮影 木塚誠一

美術 矢野友久

音楽 林光

出演 望月優子

真藤隆行

岸旗江

宮本正夫